

目標達成計画

作成日: 平成 29年 11月 6日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域の自治会へ加入していない。近隣住民との日常での交流は、利用者様同行の散歩時を含めて積極的に行っているが、本当の意味での地域の一員になっているとは言えない状況である。認知症サポーターとしても地域に貢献できることを模索していきたい。	認知症サポーターとして地域で暮らす認知症高齢者の介護に携わっておられる家族様との交流やアドバイス等を行える関係づくり、体制作りを目標に掲げます。そして地域との関係を深めることにより災害時等に協力していただけるサポーターの確保に努めます。	・地域の自治会に加入し会合等で介護相談や認知症の勉強会等の提案を行い実践していく。自治会の回覧板等で介護相談(介護保険制度、認知症)を随時受け付けていることを地域に周知する。	12ヶ月
2	4	運営推進会議を活かした取り組みについては、日程調整等の問題で年間の開催数が2~3回と少数になっている。会議出席メンバーも行政、地域包括、市社協、地域の民生委員と事業所のスタッフで構成されており利用者様の参加や利用者様家族の参加がほとんど得られていない。	利用者様や利用者様家族の参加、地域の住民代表の参加を促すように努める。また運営会議の開催数を次年度は、年4回に、次次年度には、2か月に1階に増やしていく。	・上記自治会への加入によって地域の方の参加を促す。また利用者様家族様へも早めの案内に努め参加を促します。年初の行事予定表に年4回(2月、5月、8月、11月)組み込み実施していく。また翌年には、偶数月、又は奇数月の代何曜日と決めて定例会化していきます。	12ヶ月 24か月
3	35	当施設西側の斜面が市の防災マップで土砂災害特別警戒区域に指定されている。台風、大雨、地震等の自然災害時の避難準備、避難勧告、避難指示等の発令時の対応訓練ができていない。	避難準備、避難勧告、避難指示発令時などのような行動をとればよいのかをスタッフ全員に周知して理解を求める。	避難準備、避難勧告、避難指示発令時の対応マニュアルの作成。連絡網の確立。上記発令時を想定しての避難訓練の実施。避難場所に指定されているあやたホールを実地に見分し必要物品や持参するものをあらかじめ想定し準備しておく。	6ヶ月
4	49	定期的に家族様と通院や買い物、理美容等で外出されている利用者様がいる反面、ほとんど外に出ることなく過ごされている利用者様がいます。	家族等との一緒に外出が望めない利用者様に対して定期的な外出支援を行っていききたい。外出が難しい利用者様に対しても玄関前の庭に出ただき季節季節の外気に触れ五感の刺激を図っていききたい。	利用者様のレベルに応じてスタッフとの買い物の同行、近隣への散歩、車椅子での散歩、玄関前に出て季節の外気に触れただき五感を刺激していく。理美容や買い物などを希望される利用者様と家族様との連携を図っていく。	1ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

* 4については、10月22日に台風21号により避難勧告が発令され実際に避難を行うことになった。詳細は、別紙(避難状況報告)のとおりであり、他施設でも参考になればと思い同封しておきます。